

# さっぽろのおサイフ

札幌市の財政をわかりやすく解説します

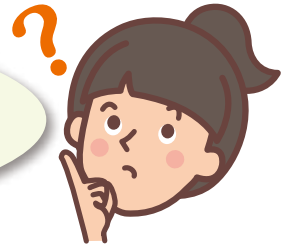


おサイフくん

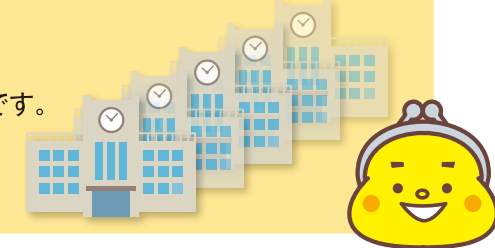
## おサイフのしくみ

そもそも予算って何？

予算とは札幌市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画のこと。  
予算を見れば、この1年間、どれくらいの収入が見込めて、  
何にいくら使うかがわかるんだ。



一般会計予算の9,366億円は  
小学校468校分の建設費に相当する額です。  
(小学校建設費 約20億円)  
※平成28年1月時点の小学校数:204校



それでは、平成28年度予算を  
みてみましょう。

おサイフ(会計)の種類は3種類あり、札幌市には合計15のおサイフ(会計)があります。

**一般会計** 平成28年度予算 9,366億円(平成27年度予算 9,010億円)

福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計

**特別会計** 平成28年度予算 3,895億円(平成27年度予算 3,917億円) ※公債会計を除く

国民健康保険や介護保険のように保険料を徴収している事業など、一般会計と区別する必要がある事業の会計

- 土地区画整理会計
- 駐車場会計
- 母子父子寡婦福祉資金貸付会計
- 国民健康保険会計
- 後期高齢者医療会計
- 介護保険会計
- 基金会計
- 公債会計

**企業会計** 平成28年度予算 2,750億円(平成27年度予算 2,807億円)

地下鉄や水道など、民間企業のように利用料金などの収益で運営している事業の会計

- 病院事業会計: 市立札幌病院
- 中央卸売市場事業会計: 札幌市中央卸売市場
- 軌道事業会計: 路面電車
- 高速電車事業会計: 地下鉄
- 水道事業会計
- 下水道事業会計

## どうして借金するの？

市債発行の理由と市債残高

市債(借金)は、道路や学校、公園を造ったり、大きな施設を建てるために使っています。借金をしないで施設を建設すると、施設を造った年の負担額がとても大きくなって、他のサービスに影響が出てしまいます。建物は長く使うものなので施設を使う次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をして、将来にわたって負担を分割(おおむね30年間で返済)しています。

札幌市の一般会計などの公共資産額 合計 3兆3,242億円(平成26年度末時点)



札幌ドーム(事業費537億円)

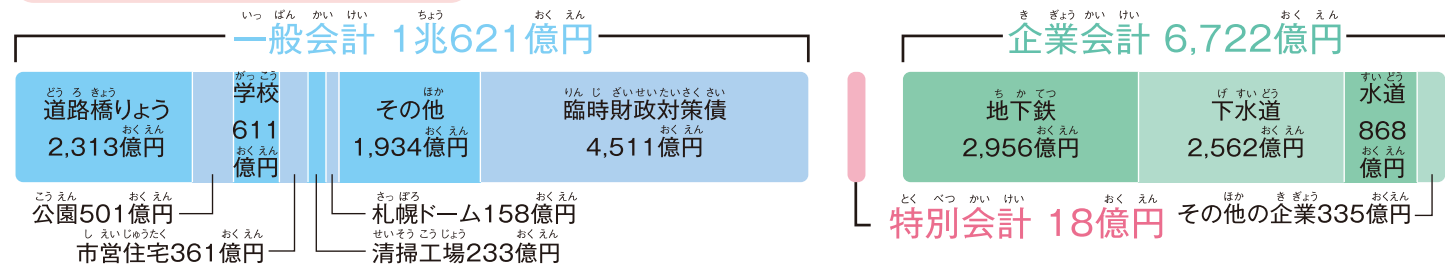


札幌コンサートホール(Kitara)(事業費187億円)

## 今までいくら借りて、何に使ってきたの？

借金の残高は、平成28年度末に、一般会計で1兆621億円、全会計で1兆7,361億円になる見込みです。その使い道は、道路や公園、学校、地下鉄、上下水道といった社会の基礎となる施設が中心です。他にも、札幌ドームや札幌コンサートホール(Kitara)、札幌駅前通地下歩行空間などの大きな施設もお金を借りて整備しています。近年は臨時財政対策債の残高が増えています。

### 平成28年度末市債残高見込み



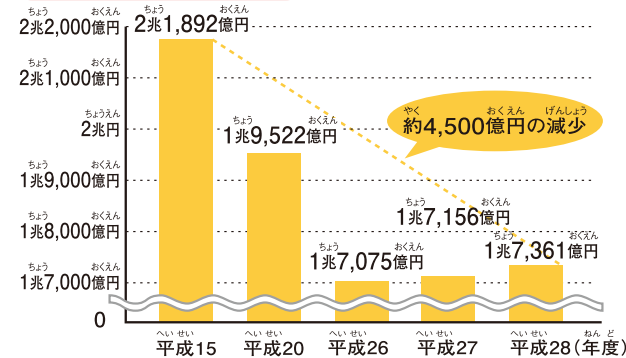
※各項目ごとに四捨五入しているため、総計は一致しません。

合計 1兆7,361億円 市民1人あたり市債残高:88万8千円

## 借金はちゃんと返しているの？

借りたお金は毎年計画的に返済しています。また道路や上下水道の施設を修理しながら長く使うことにより、新たに施設を造るための借入をできるだけ少なくして借金の残高を減らし、将来の返済の負担が大きくなりすぎないように努めています。

### 市債残高(全会計)

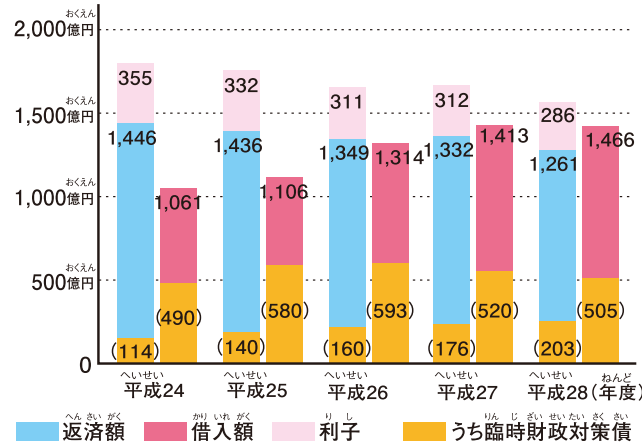


※市債残高について、将来の返済に備えて積み立ててきたお金は、既に返済しているものとみなし、残高から差し引いています。  
※平成26年度までは決算額、平成27年度は現計予算額、平成28年度は当初予算額です。

## 臨時財政対策債って何？

施設建設のための借金とは異なり、本来、国が現金で交付すべき地方交付税の一部について、市が代わりに一時的に借金をしているものです。返済のためのお金は将来の地方交付税に加算されて交付されます。

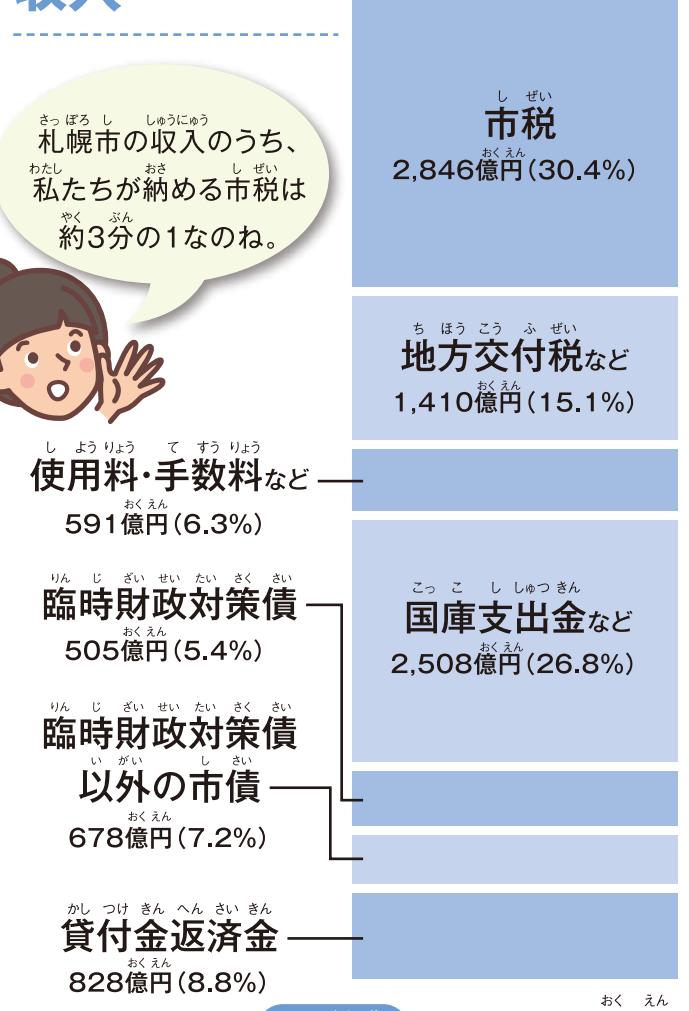
### 市債の返済額と借入額(全会計)





# 札幌市の平成28年度の予算をみてみよう (一般会計)

## 収入



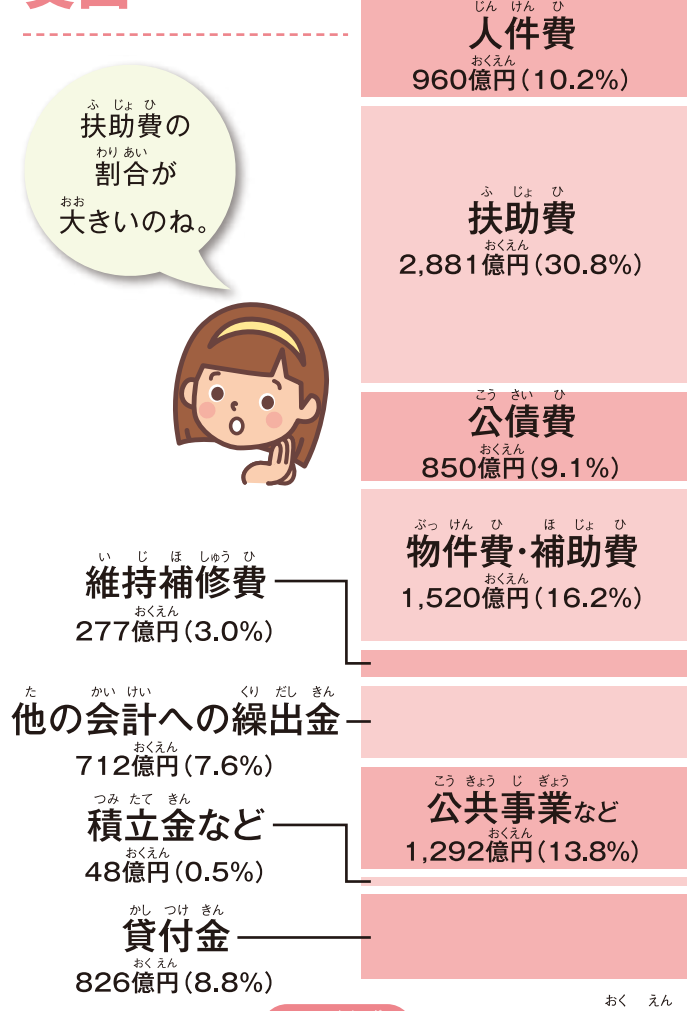
28年度 **9,366億円**

## 支出の内訳

- 子ども・子育て支援費 504億円** (市民1人あたり…2万6千円)
  - 保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育などの運営、整備
  - 一時預かり保育・子育てサロンなど
- ごみ処理費 220億円** (市民1人あたり…1万1千円)
  - ごみの収集、運搬
  - 清掃工場の管理・運営
- 学校整備費 185億円** (市民1人あたり…9千円)
  - 学校の建替・改修など
- 公園関係費 100億円** (市民1人あたり…5千円)
  - 公園の造成、再整備、維持・管理

※市民1人当たりの金額は、平成28年2月1日現在の推計人口(1,954,307人)を基に算出しています。

## 支出



28年度 **9,366億円**

具体的にどんなことに使われているのかな？

- 除雪費 194億円** (市民1人あたり…1万円)
  - 除排雪作業など
- 高齢福祉費 101億円** (市民1人あたり…5千円)
  - 敬老優待乗車証(敬老バス)
  - 老人福祉施設の運営・整備
- 観光関係費 16億円** (市民1人あたり…1千円)
  - さっぽろ雪まつり関連事業
  - MICE関連事業(国際会議の招致など)
  - さっぽろホワイトイルミネーション関連事業

# 札幌市の予算を家計に例えると…

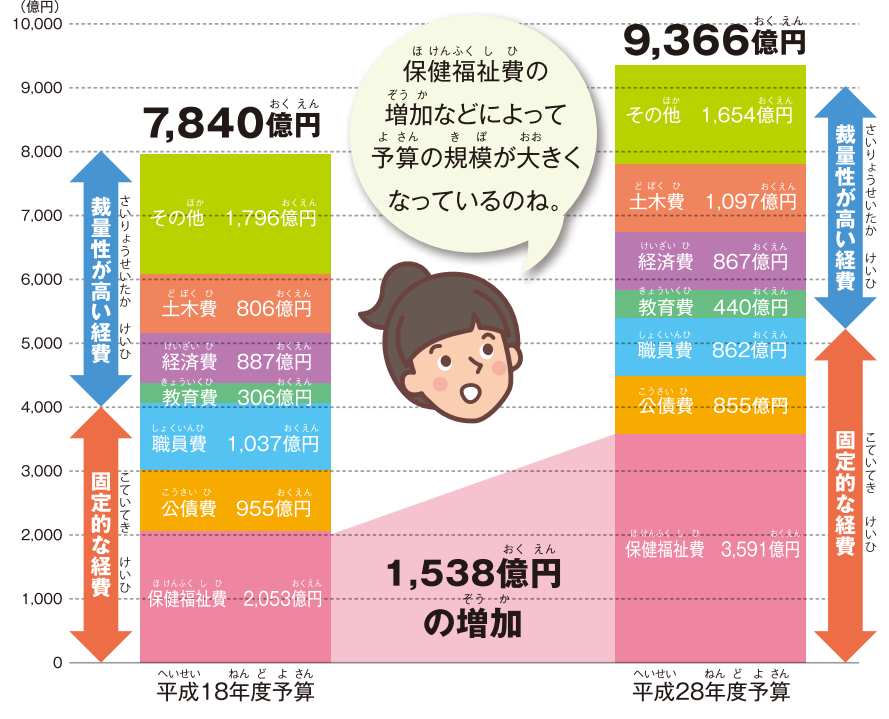
札幌市の1年間の収入と支出を家計簿に当てはめてみよう！  
平成28年度一般会計予算9,366億円を年収480万円(1か月あたり40万円)の家計に例えてみたよ。

| 収入                      | 28年度                                   |
|-------------------------|--|
| 給料                      | 18万2千円 (45.5%)                         |
| うち基本給(市税)               | 12万2千円                                 |
| うち諸手当(地方交付税など)          | 6万円                                    |
| パート収入(使用料・手数料など)        | 2万2千円 (5.4%)                           |
| 親からの仕送り(国庫支出金など)        | 10万7千円 (26.8%)                         |
| 貯金の取り崩し(繰入金)            | 4千円 (0.9%)                             |
| 借金(市債)                  | 5万1千円 (12.6%)                          |
| うち住宅ローン(公共事業のための市債)     | 2万9千円                                  |
| うちカードローン(臨時財政対策債)       | 2万2千円                                  |
| その他(中小企業などへの貸付金にかかる返済金) | 3万5千円 (8.8%)                           |
| <b>貯金残高</b>             | <b>年収480万円に対し 33万2千円 (27年度は36万1千円)</b> |
| <b>合計</b>               | <b>40万円 (100%)</b>                     |

※27年度の金額は、28年度予算額9,366億円を年収480万円にあてはめた場合の縮尺に合わせています。

# 10年前の予算と比較してみよう！[財政の変化と状況]

10年前の予算と比べると、固定的な経費が増加していて、自由に使えるお金が少なくなっているんだね。



10年前の予算と比較すると…

- 保健福祉費は▶1,538億円の増加**
- 障がい福祉サービス費や、児童福祉費、生活保護費等の増加により、保健福祉費が増加しています。
- 職員費は▶▶▶175億円の減少**
- 職員給与や退職手当の減少により、職員費が減少しています。
- 固定的な経費**
- 平成18年度予算 **4,045億円** (51.6%) → 平成28年度予算 **5,308億円** (56.7%)
- 裁量性が高い経費**
- 平成18年度予算 **3,795億円** (48.4%) → 平成28年度予算 **4,058億円** (43.3%)

10年間で固定的な経費が増え、財政構造が硬直化してきています。

